

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	その他	授業の方法	演 習
科 目 名	臨床工学の基礎演習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	片桐 伸将	実務経験とその関連資格	博士(工学), 職業訓練指導員免許(メカトロニクス等), 10年以上国立循環器病研究センター研究所にて医療機器の研究開発および1〜5回/年程度の国内外学会発表(片桐)			
《授業科目における学習内容》						
第2種ME技術実力検定試験の広範囲にわたる各分野について, 過去問を題材とした概要の講義, 問題解説, 小試験を繰り返し行うことで, 試験合格に必要な実力を身に付ける。						
《成績評価の方法と基準》						
課題達成度と小試験70%、出席評価点20%、平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書なし, スライド資料, 過去問資料当日配布						
《授業外における学習方法》						
臨床工学技士の国家試験や第2種ME技術実力検定試験で出題される各分野について, 講義や演習内容の復習と過去問の解説をまとめる。						
《履修に当たっての留意点》						
配布資料の過去問の正解の内容みならず, 正しい記述がある内容は全てチェックし, 空欄に解説の要点をメモしていくこと。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。	配布資料	・シラバスを読み、授業内容についてしらべておく	
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。			
第2回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習	
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。			
第3回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習	
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。			
第4回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習	
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。			
第5回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して医学系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習	
		各コマにおける授業予定	医学総論・公衆衛生学・人体の構造および機能・病理学概論・生体機能代行装置学・医用治療機器学・生体計測装置学・医用機器安全管理学に関する実習と過去問演習の実施と解説。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して医学系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	医学総論・公衆衛生学・人体の構造および機能・病理学概論・生体機能代行装置学・医用治療機器学・生体計測装置学・医用機器安全管理学に関する実習と過去問演習の実施と解説。		
第7回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して医学系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	医学総論・公衆衛生学・人体の構造および機能・病理学概論・生体機能代行装置学・医用治療機器学・生体計測装置学・医用機器安全管理学に関する実習と過去問演習の実施と解説。		
第8回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して医学系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	医学総論・公衆衛生学・人体の構造および機能・病理学概論・生体機能代行装置学・医用治療機器学・生体計測装置学・医用機器安全管理学に関する実習と過去問演習の実施と解説。		
第9回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。		
第10回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。		
第11回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。		
第12回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。		
第13回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して医学系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	医学総論・公衆衛生学・人体の構造および機能・病理学概論・生体機能代行装置学・医用治療機器学・生体計測装置学・医用機器安全管理学に関する実習と過去問演習の実施と解説。		
第14回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して医学系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	医学総論・公衆衛生学・人体の構造および機能・病理学概論・生体機能代行装置学・医用治療機器学・生体計測装置学・医用機器安全管理学に関する実習と過去問演習の実施と解説。		
第15回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して医学系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	医学総論・公衆衛生学・人体の構造および機能・病理学概論・生体機能代行装置学・医用治療機器学・生体計測装置学・医用機器安全管理学に関する実習と過去問演習の実施と解説。		